

(参考資料)

## 医療費の地域差と各種指標との相関について

医療費との関連が強いといわれる事項について、その指標となりうる計数を選び、都道府県別に地域差指数や老人一人当たり医療費との相関関係を調べた結果を示した。

(留意点)

変数間の相関係数が高いほど、「変数の一方が高ければもう一方も高い（または低い）」という相関関係が強いことを示すが、このことは、必ずしも両者に因果関係があることを示すものではない。

### 1. 医療供給面の指標

(1) 供給量または許容量に関する指標

○ 施設数に関する指標

人口10万対施設数（平成11年 医療施設調査）

○ 病床数に関する指標

人口10万対病床数（平成11年 医療施設調査）

○ 医師数に関する指標

人口10万対医師数（平成10年 医師・歯科医師・薬剤師調査）

### 2. 主に老人医療との関連が深いと考えられる指標

(1) 入院医療費に影響を及ぼすと考えられる要因

○ 死亡場所に関する指標

70歳以上の者が医療機関で死亡する割合（平成11年「人口動態統計」）

○ 重症度に関する指標

入院患者のうち受け入れ条件が整えば退院可能な者の割合  
（平成11年「患者調査」）

(2) 入院外医療費に影響を及ぼすと考えられる要因

○ 人口規模との関連に関する指標

老人数1万人以上の市町村の老人数が都道府県の老人数に占める割合  
（厚生労働省保険局調べ（平成11年度実績））

- 保健サービスの効果に関する指標  
人口10万対保健婦数（平成10年 「衛生行政業務報告」）
  
- (3) その他社会的要因
  
- 高齢者の就業状況に関する指標  
70歳以上の就業率（平成7年 「国勢調査」）
  
- 世帯の介護力に関する指標  
70歳以上の者の一人暮らし割合（平成10年 「国民生活基礎調査」）

## 各種指標との相関係数

### 1. 医療供給面の指標

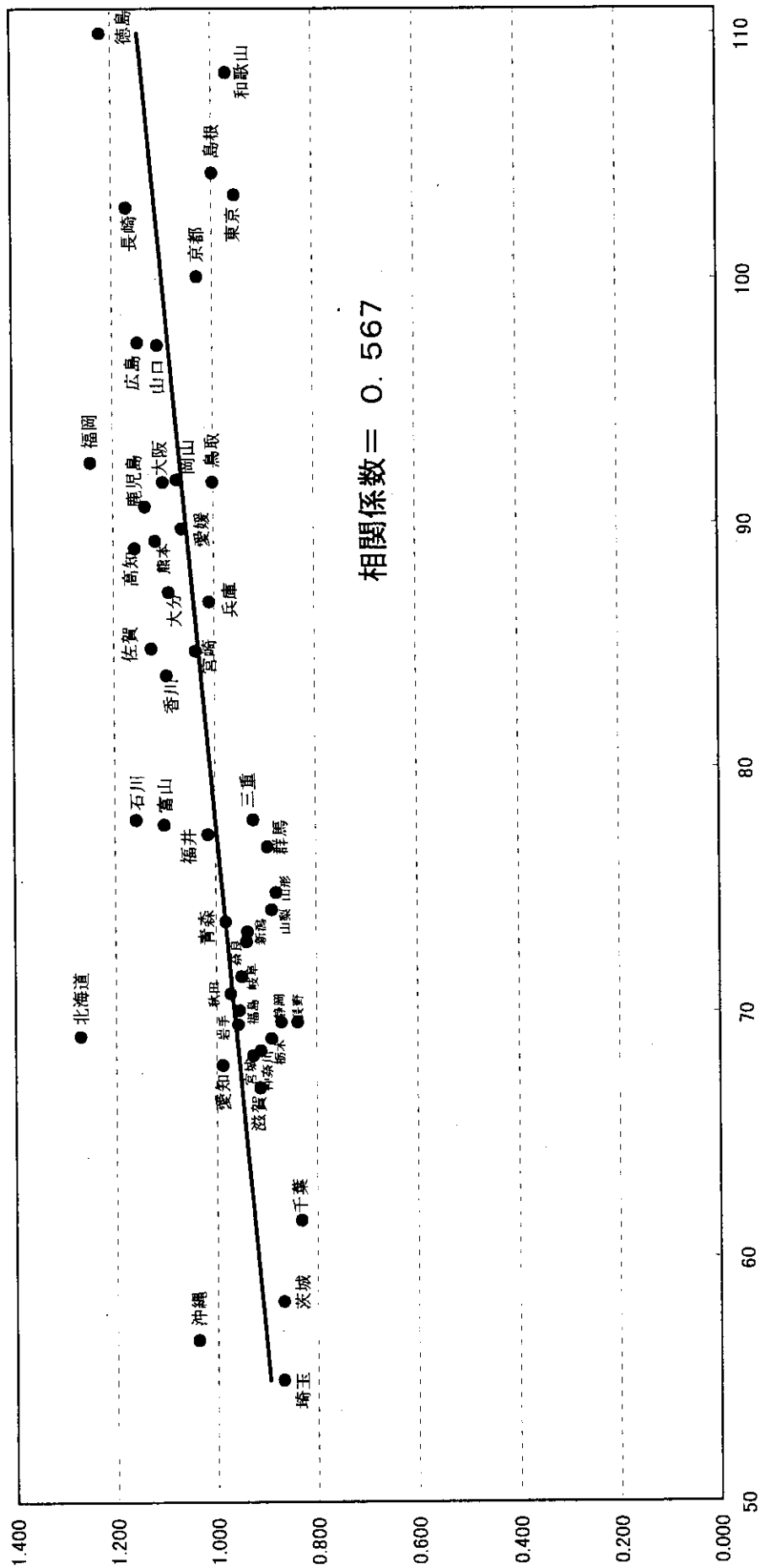
	入院・入院外の別	地域差指数との相関係数
人口10万対病院・診療所数	地域差指数(計)	0.567
人口10万対病床数	地域差指数(入院)	0.903
人口10万対医師数	地域差指数(入院外)	0.533

### 2. 主に老人医療との関連が深いと考えられる指標

	入院・入院外の別	一人当たり 医療費との 相関係数	一人当たり 日数との相 関係数	一日当たり 医療費との 相関係数
70歳以上の者が医療機関で死亡する割合	入院医療費	0.688	0.658	-0.462
入院患者のうち受け入れ条件が整えば退院可能な者の割合	入院医療費	0.473	0.448	-0.278
老人数1万人以上の市町村の老人数が都道府県の老人数に占める割合	入院外医療費	0.502	0.403	-0.182
人口10万対保健婦数	入院外医療費	-0.404	-0.298	0.101
70歳以上の就業率	医療費	-0.390		
	入院医療費	-0.341	-0.331	0.243
	入院外医療費	-0.332	-0.228	0.049
70歳以上の者の一人暮らし割合	医療費	0.660		
	入院医療費	0.601	0.578	-0.420
	入院外医療費	0.621	0.549	-0.318

# 地域差指数(計)と人口10万対施設数の相関

地域差指数  
(計)

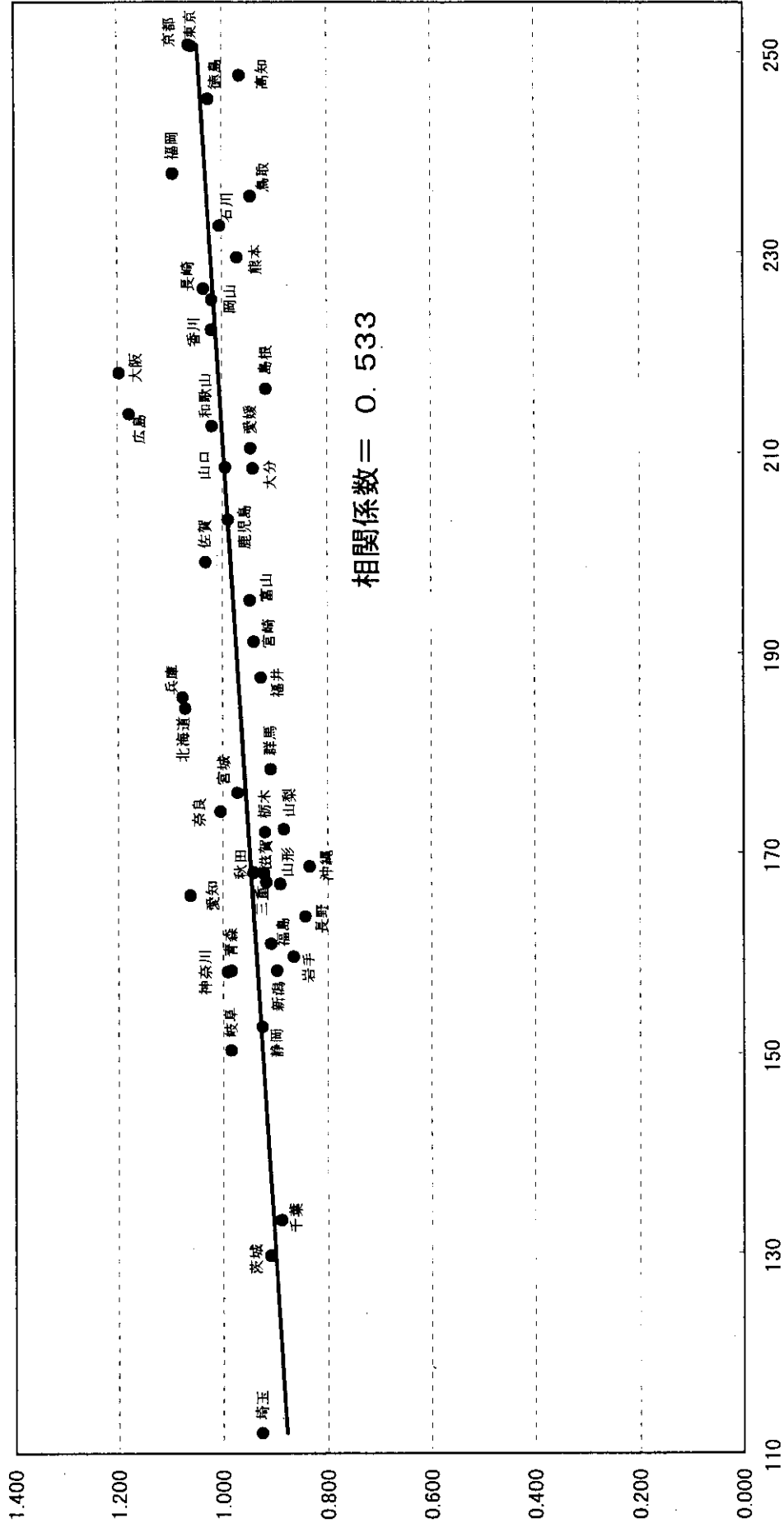


人口10万対施設数(病院+一般診療所)



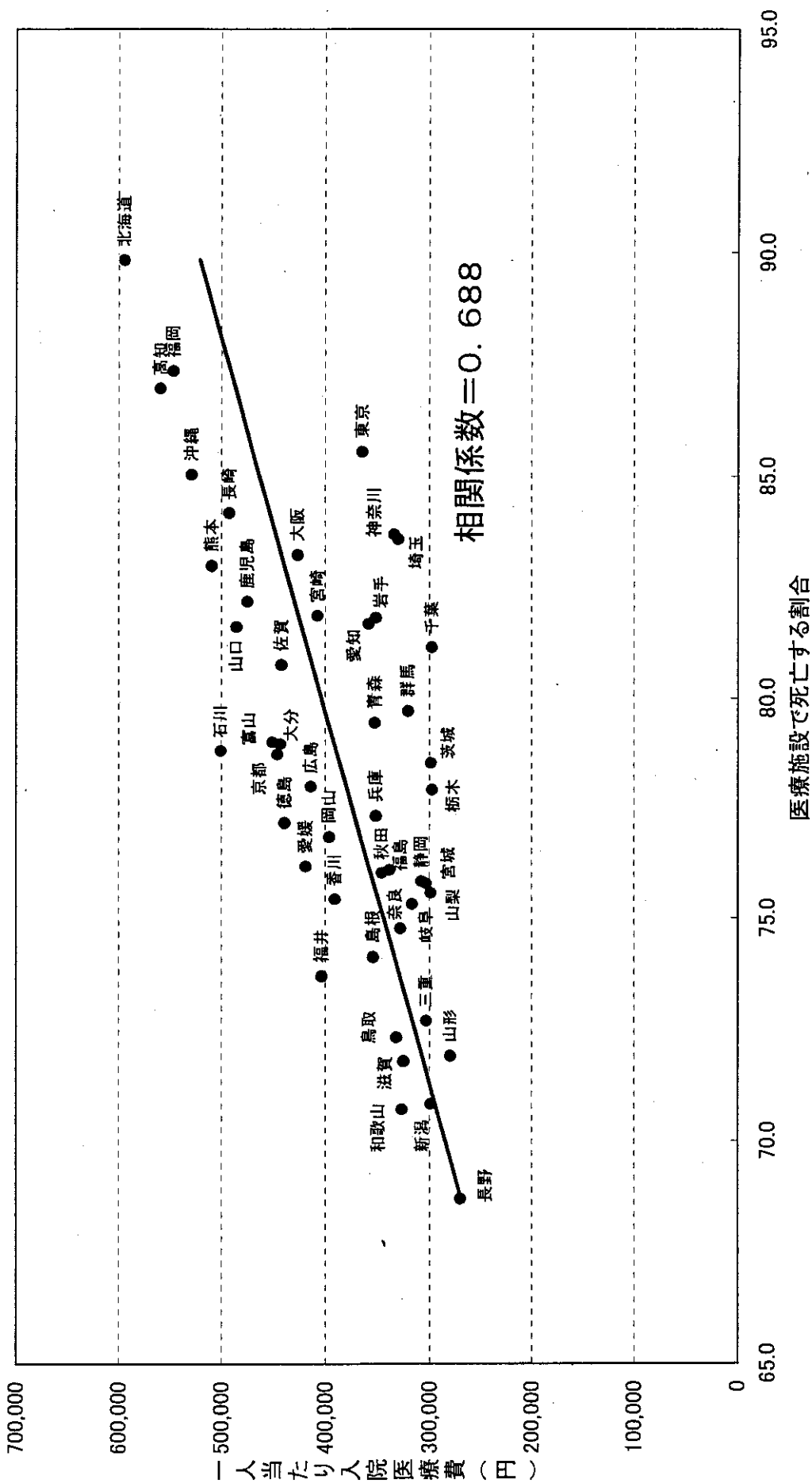
# 地域差指数(入院外)と人口10万対医師従事者数の相関

地域差指数  
(入院外)

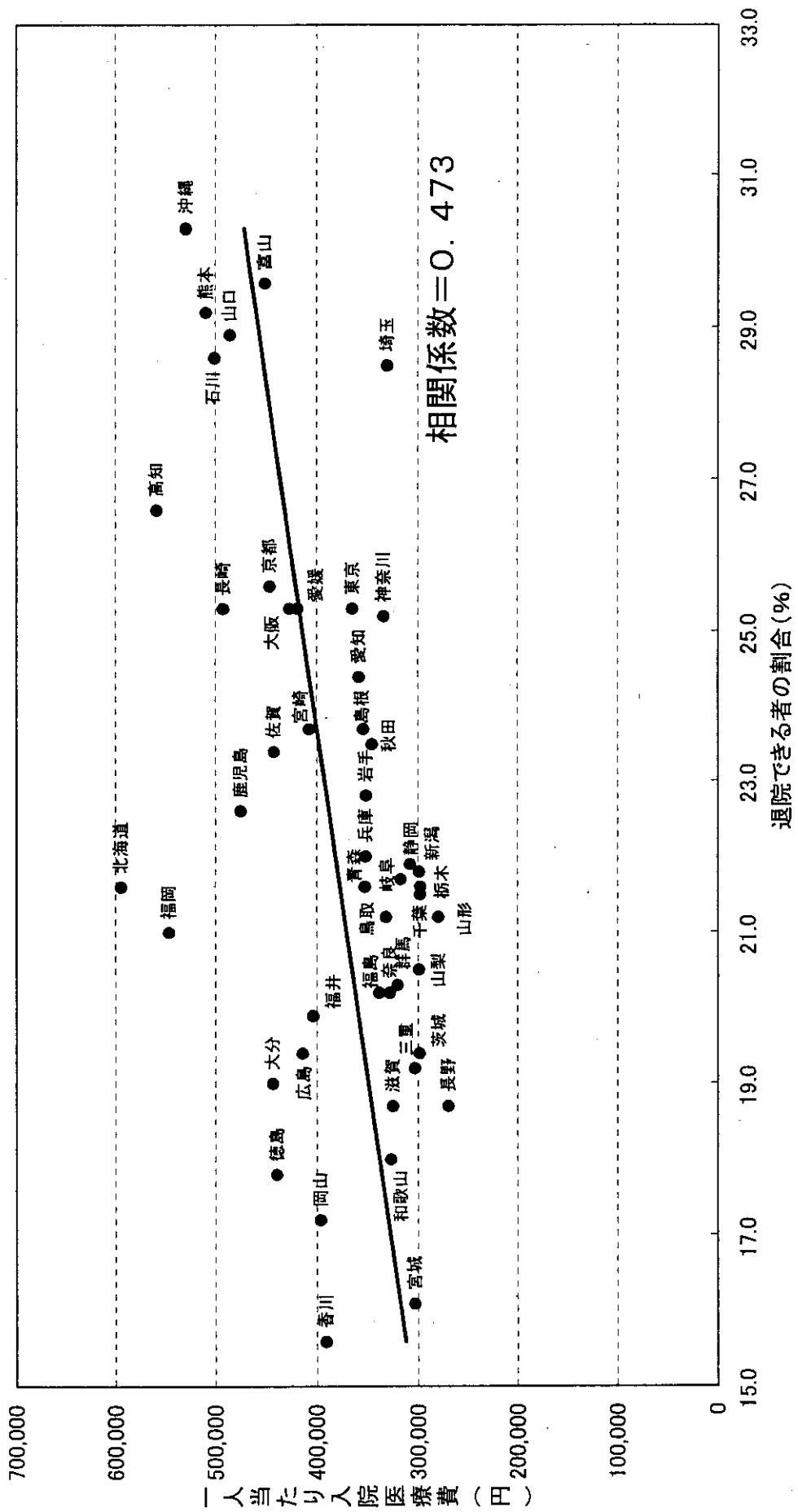


人口10万対医師従事者数 (人)

# 医療施設で死亡する割合と老人一人当たり入院医療費

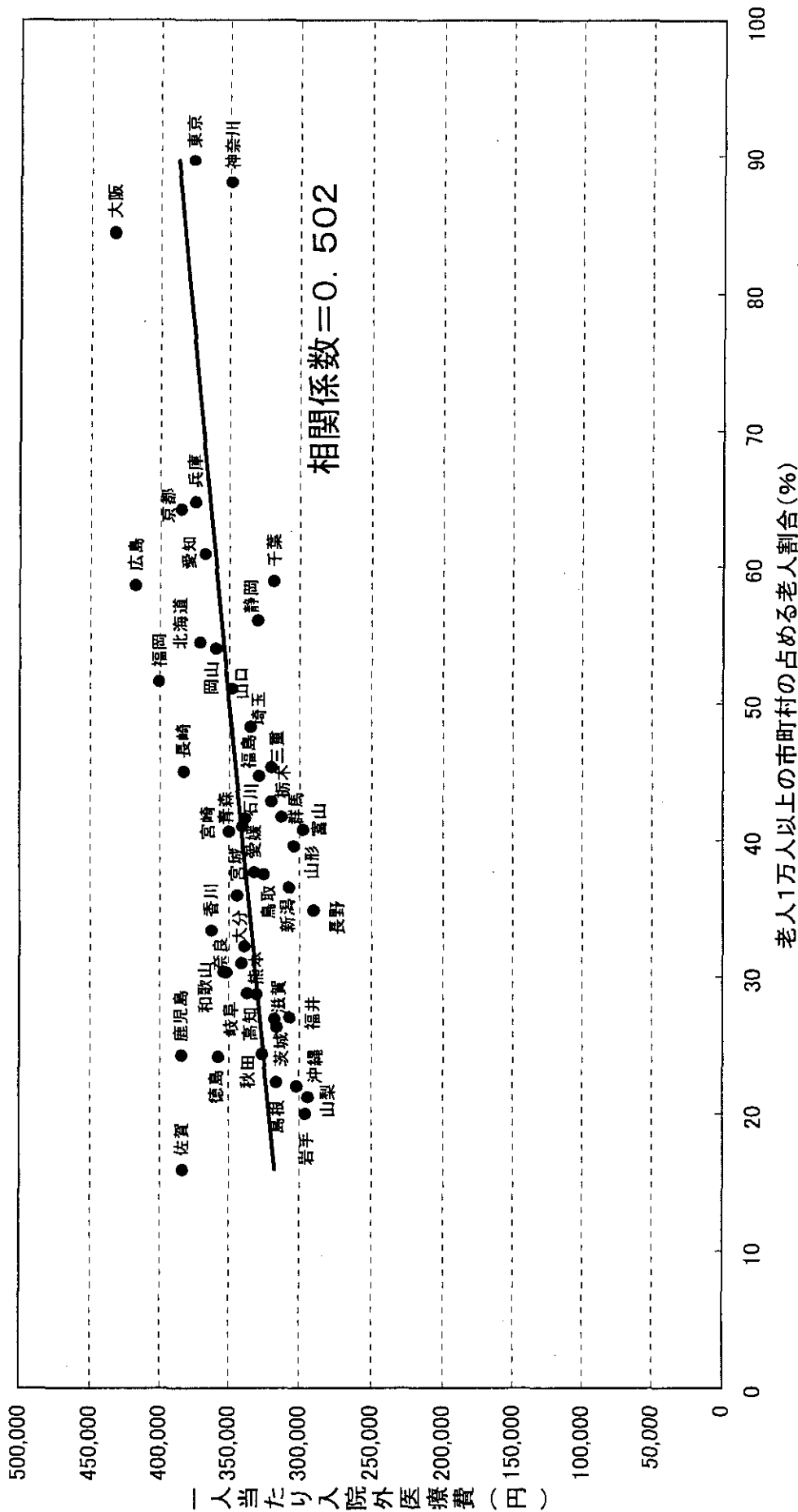


入院患者のうち受け入れ条件が整えば退院できる者の割合(70歳以上)と  
老人一人当たり入院医療費

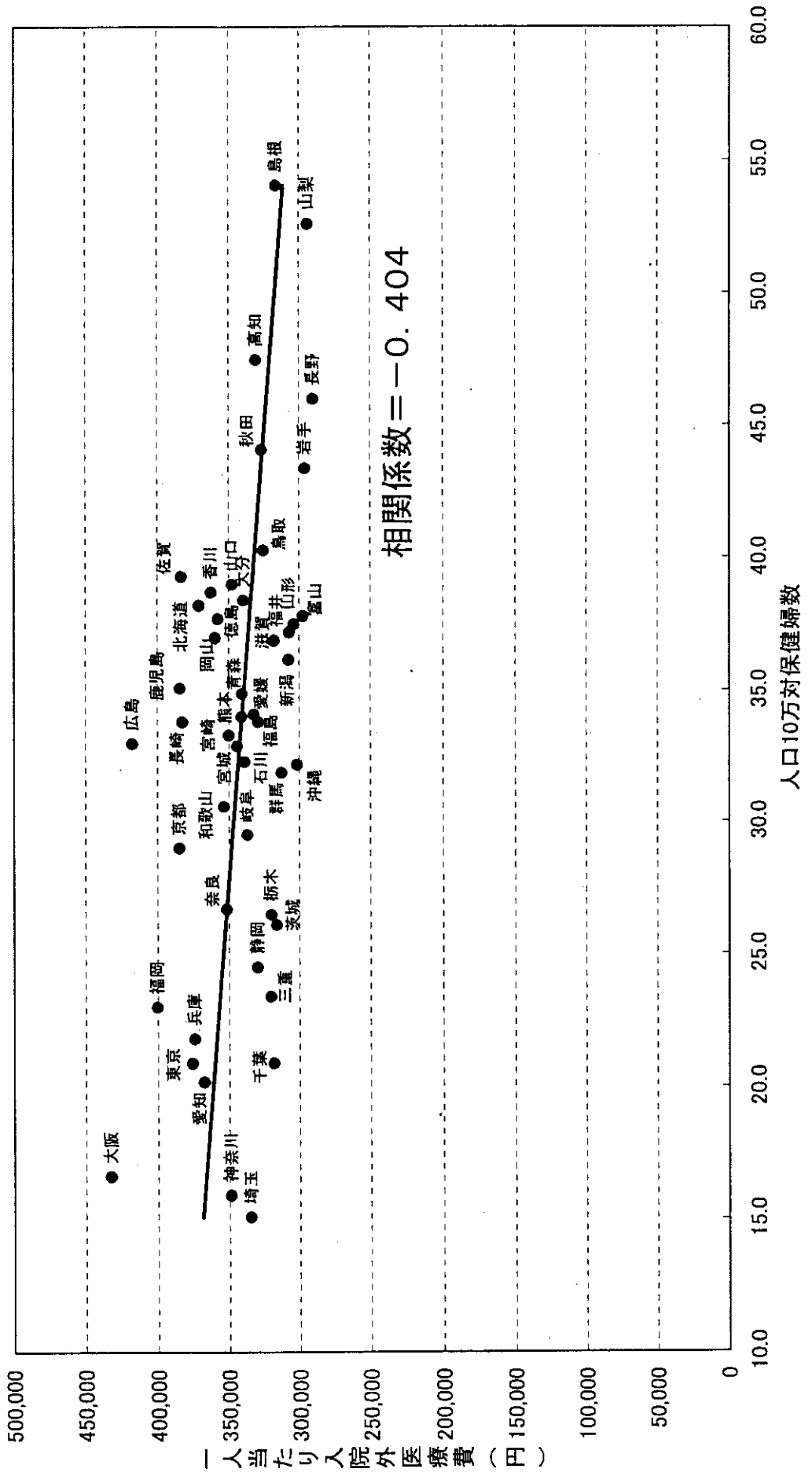




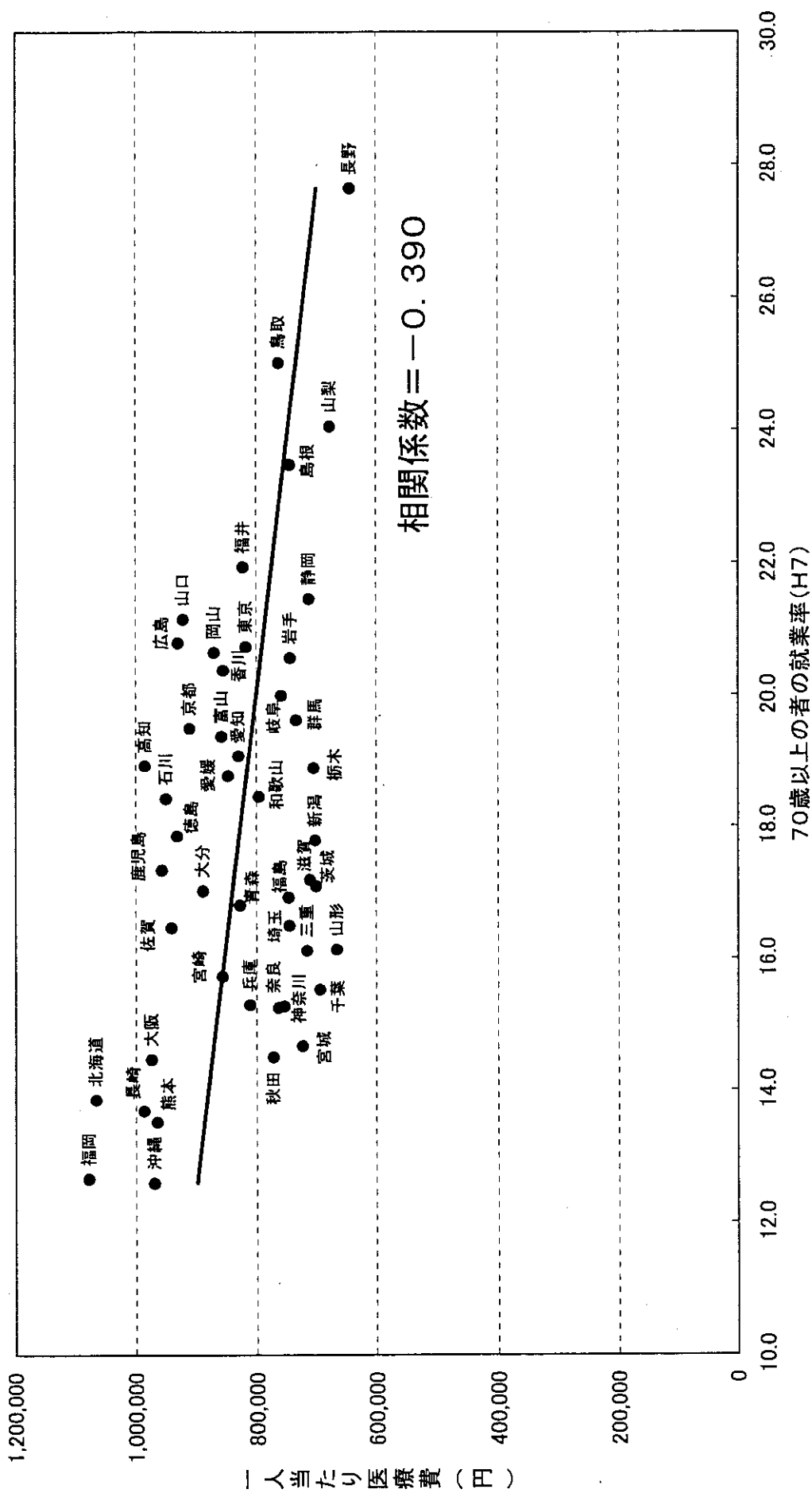
# 老人数1万人以上の市町村の老人数が都道府県の老人数に占める割合と 老人一人当たり入院外医療費



# 人口10万対保健婦数と老人一人当たり入院外医療費



# 70歳以上の者の就業率と老人一人当たり医療費



# 70歳以上の者の一人暮らし割合と老人一人当たり医療費

